

一月 学校だより

平成二十六年一月七日

明けましておめでとうございます

新年になりました。三学期は、本年度の学年のまとめをするときです。それぞれの子どもが、今の学年でできるようになったこと、もう少しがんばりたいことをしっかりと自覚して学習活動に取り組むように支援していきます。ご家庭でも、その点で子どもと話し合っていただきますようにお願いします。特に、六年生は、四月には中学生になります。今、卒業に向けて着々と取り組んでいます。きっと、上福島の六年生として立派に卒業してくれると、期待しています。また、今年の上福島小学校の教育方針として、子ども一人ひとりを大切にして、基礎的・基本的学力のよりいっそうの向上を目指して、習熟度別少人数授業の充実と道徳教育、健康教育（食育）にさらに力を入れていきたく思っています。

正月の行事について

さて、お正月の日本の伝統的な行事について、調べてみました。一月十五日の小正月まで、つぎつぎに新年行事があります。しかし、最近では、だんだんと、新年の諸行事をしなくなる家庭が増え

えているといわれています。毎年、初詣には、あれだけの人々がいくのですから、日本の古来の新年行事を、ぜひ、子どもたちにも知つてほしいものです。今日はちょうど七日です。朝にお祝いされたご家庭もあるかと思いますが、「七草」と「鏡開き」について述べたいと思います。

七草

一月七日の朝に、野菜を入れたお粥（七草がゆ）を食べ、健康を保持しようというならわしです。昔、中国から伝わったもので、万葉時代から行われています。七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ（母子草）、ハコベラ（はこべ）、ホトケノザ（おばこ）、スズナ（かぶ）、スズシロ（大根）のことです。これを六日の宵から夜にかけて刻むとき、「七草ナズナ、唐土の鳥が、日本の土地に渡らぬうちに」と囁します。そして、七日の朝に七草がゆを作り、これを食べて、病魔に冒されないまじないとしたのです。

鏡開き

一月十一日に、お正月に神棚や床の間などに供えた鏡餅を槌や手で割り（刃物は使わない）、おしるこにして食べます。昔、武家の家では男子は鎧びつに、女子は鏡台に供えた鏡餅を二十日おろして食べたといわれます。それが、十一日になつたわけは、徳川三代将軍家光の忌日が二十日だったため、商家の行っていた十一日の藏開きと同じにしたといわれているのです。

さて、お正月の日本の伝統的な行事について、調べてみました。一月十五日の小正月まで、つぎつぎに新年行事があります。しかし、最近では、だんだんと、新年の諸行事をしなくなる家庭が増え

学習予定

七日(火) 三学期始業式

八日(水)

給食開始

九日(木)

発育測定四・五・六年

十日(金)

第二回なかよし班活動

十一日(土)

P T A 実行委員会

十三日(月)

成人の日

十四日(火)

委員会活動・計画委員会

十六日(木)

J R 大阪電力区など見学六年

十七日(金)

教育の日・卸売市場見学三年

二十一日(月)

給食週間開始

二十一日(火)

クラブ活動

二十二日(水)

児童一斉下校十四時十分

二十三日(木)

給食週間開始
(臨時校時)

二十四日(金)

キッズプログラミング見学二年

二十五日(土)

上福島ふれあい祭り(土曜授業)
第三回なかよし班活動

二十九日(水)

学習参観・P 親子集会・一年

三十一日(金)

C-NETによる外国語活動
車清掃・標準服交換・卒業対策委

二十八日(火)

委員会活動(二月分)

二十九日(水)

学習参観・P 親子集会・一年

(学校長 坂部 俊次)

三十一日(金)かけ足大会